

2025 年卒

6 月 1 日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリタス就活 学生モニター2025 調査結果 (2024 年 6 月発行)

2025 年卒業予定者の採用面接が今月 1 日に正式に解禁され、就職戦線は山場を迎えた。深刻な人手不足を背景に企業の採用意欲が高まる中で、内定率はどのように変化しただろうか。6 月 1 日現在のキャリタス就活・学生モニターの就職活動状況を調査した。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 6 月 1 日時点の内定^(※)状況

- 内定率は 85.2%。前年同期実績 (81.3%) を 3.9 ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の 64.2%。継続者は「内定あり」「内定なし」を合わせて 35.8%

2. 内定保持学生の未決定理由

- 「本命企業がまだ選考中」が最多。「複数内定で優劣つけがたい」が前年より増加

3. 未内定学生の見通し

- 「近々内定をもらえる見通しが立っている」が前年よりやや増加 (11.4%→13.4%)

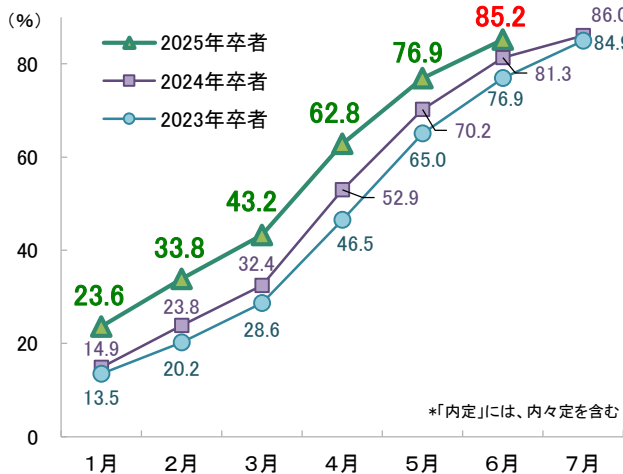
※「内定」には、内々定を含む

1. 6 月 1 日時点の内定状況

6 月 1 日現在の学生モニターの内定率は 85.2%。先月調査 (5 月 1 日 76.9%) からの 1 カ月間で 8.3 ポイント上昇し、前年実績 (81.3%) を 3.9 ポイント上回った。今期は序盤から高い内定率を記録。高水準で推移した前年 (24 年卒) を大幅に上回るペースで進行し、選考解禁のこのタイミングで 8 割半ばに達した。早期化が一層進んだ様子が見える。

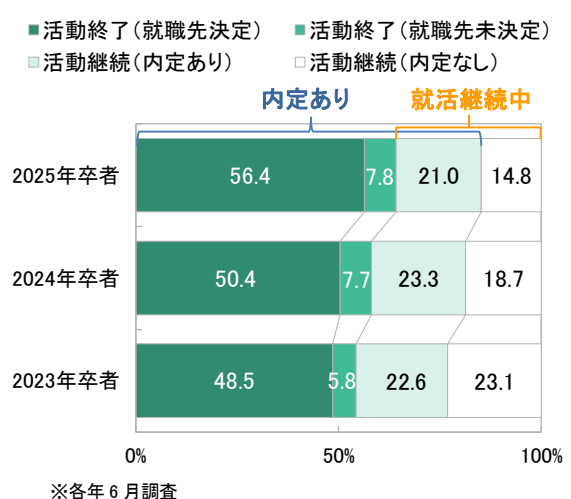
調査時点で就職先を決定して活動を終了した者の割合はモニター全体の 56.4%。複数内定を保留しているなど未決定である者 (7.8%) を合わせると、終了者は 64.2%となる。活動継続者は「内定あり」(21.0%)、「内定なし」(14.8%) を合わせて 35.8%。

< 内定率の推移 >



※各月1日時点

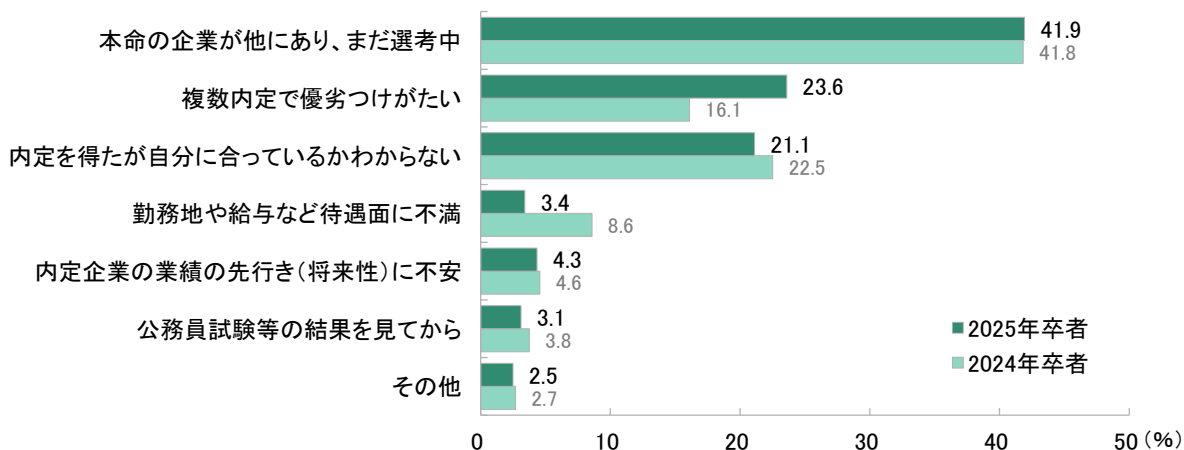
< 活動状況の分布 >



2. 内定保持学生の未決定理由

内定を取得しても就職先を決めていない学生(モニター全体の28.8%)にその理由を尋ねると、最も多いのが「本命の企業が他にあり、まだ選考中」という回答で(41.9%)、本命企業の結果次第という状況だ。「複数内定で優劣つけがたい」(23.6%)、「自分に合っているかわからない」(21.1%)と続き、内定は得たものの承諾を迷う学生が一定数いることがわかる。特に「複数内定で…」は前年より大きく増加しており、内定獲得社数の増加がなかなか就職先を決められない要因となっているようだ。

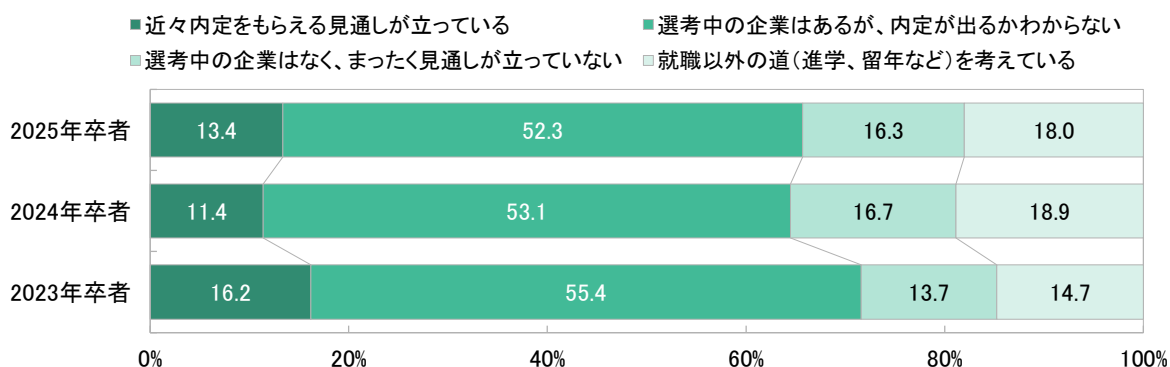
＜内定保持者が就職先を決めていない理由＞



3. 未内定者の見通し

未内定の学生には内定獲得の見通しを尋ねた。「近々内定をもらえる見通しが立っている」は13.4%で、前年同期(11.4%)を2ポイント上回る。最も多いのは「選考中の企業はあるが、内定が出るかわからない」で過半数を占めている(52.3%)。また、「選考中の企業はなく、まったく見通しが立っていない」は16.3%で、前年より微減した。

＜未内定学生の内定を得る見通し＞



調査概要

- 調査対象：2025年3月に卒業予定の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)
- 回答者数：1,160人(文系男子315人、文系女子405人、理系男子290人、理系女子150人)
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2024年6月1日～6日
- サンプリング：キャリアタス就活 学生モニター2025
- 調査実施：株式会社キャリアタス/キャリアタスリサーチ